

建学の精神に守られて

井 上 美 香

今年もまた、私の大好きな春がやってきた。入学式で新入生の期待に満ちた表情を見ていると、たくさんの勇気をもらう。初めてのキャンパス、初めての友達、初めての先生…。私も8年前、大きな期待と、同じくらい大きな不安を抱えながら、正門をくぐった。

入学当初、不安だらけの私に勇気をくれたのが、見とれてしまうほど美しいキャンパスと、チャペルアワーの始まりを告げる賛美歌の音色をしたチャイムだった。キャンパス全体に響くその音色は、忙しい日々を一瞬止めて、なんともいえない安らぎと癒しを与えてくれたことを覚えている。関学が長年大切にしてきたキリスト教主義の精神を、そっと学生に教えているようにも感じた。

先日、卒業生の方から教会を紹介してほしいとの電話を受けた。その方は、最近病気になる、闘病生活を送るなかで、ふと、関学で学んだキリスト教の授業を思い出し、教会でもう一度聖書について学んでみたいと思ったそうだ。若い頃にはあまり何も思わなかったが、今になって急にその聖書の授業が大切に、なつかしく感じられたのだと話しておられた。

スクールモットー“Mastery for Service”に表わされる関学のキリスト教主義の精神は、目には見えない。何かと比較して評価できるものでもない。チャペルアワーに参加したからといって、すぐに成績があがるわけでもない。しかし、卒業生の方が社会に出てしばらくしてから感じたように、人生そのものの、特に迷いや困難のなかで支えとなる力を持っていると思う。そしてその精神は、チャペルアワーのチャイムのように、さまざまな形を通して、一人ひとりの奥底で生き続け、私たちを支え、守ってくれている。

関学のなかにいると、関学の精神について意識することは少ないように思う。私自身、当たり前のことだと深く考えずにいた。卒業生の方は、そんな私に改めてその素晴らしさを教えてくれた。

新入生のみなさんにも、チャペルアワーをはじめ、関学の精神、関学らしさをさまざまな場面で感じてほしい。すぐにその良さは分からないかもしれない。しかし、社会に出て、さまざまな経験をするなかで、きっと一人ひとりの人生の支えになり続けてくれるから…。

(広報室職員)

-
- ◇ランパス早天祈祷会 毎金曜日 午前8:20～8:40 於：ランパス記念礼拝堂(上ヶ原)
5月1日(金) 神学部のために 平 林 孝 裕
5月8日(金) 文学部のために 大 鹿 薫 久
◇総合政策学部早天祈祷会 毎木曜日 午前8:40～ 於：宗 教 主 事 室
-